



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.7

令和8年7月10日発行

心の豊かさを育てる「読書活動」

村山市は、「読書シティーむらやま宣言」をし、心豊かな社会を実現するために「読書」に力を入れています。月1回の移動図書館「はやま号」や小学校入学を記念して、市内小学1年生全員に希望する絵本をプレゼントする「はじめの一冊贈呈」などの取り組みを行っています。子どもたちは「はやま号」をととても楽しみにしています。



本校では、定期的に母親委員会の活動として「本の読み聞かせ」を行っています。子どもたちが食い入るように絵本を見つめ、絵本の世界に浸っている姿はとても素敵です。また、全校生が、同じ時間に一齐に読書をする「全校読書」という活動も行い、本好きな子どもを育てています。

7月2日は、児童選書会を行いました。子どもたちが、見本の本を実際に手に取り、図書室の蔵書にしてほしい本を選びます。自分たちで選ぶという活動は、子どもたちの主体性を育てます。手に取った本について友達と話をしたり、笑顔で気に入った本を先生に紹介する場面も見られました。選んだ本は早ければ夏休み明けに図書室に入ります。



ワクワクする「生きた学習」を～3・4年生の学習から～



3年生は、社会科で「はたらく人とわたしたちの暮らし」について学習をしています。その中で、さくらんぼ農家の仕事について学ぶ場面がありました。実際にさくらんぼ農家の方にインタビューする活動を組みました。資料集から学ぶのではなく、実際に生の声を聴くことで、実感の伴う深い学びとなりました。ご協力くださった八鍬淳さんありがとうございました。

次の日、3・4年生は地域をめぐる活動を行いました。ねらいは、袖崎のよさを知ることです。自転車に乗って、ふたば袖崎保育園、溪永寺、ログハウスを訪問させていただきました。ここでも、実際に見たりインタビューしたりすることで生の声を聴くことができました。インタビューをしながら、自分たちの知識をアップデートすることができました。新たな学びを得たことで、さらに深く学んでいけそうです。ご協力くださった皆さんありがとうございました。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

